

学校新聞

令和元年度
「薫風」第3号
11月6日(水)

薫風

～緑新たに風も薫れり～



発行元 東京都立大崎高等学校全日課程 〒142-0042 品川区豊町2-1-7

『進路を決める』

校長 豊岡 耕一郎

先月の台風による度重なる災害では、全国各地で大きな被害が出ており、いまだ日常の生活が取り戻せないで苦しんでいる方々が多くいらっしゃいます。本校も、強歩遠足や大崎夢さん橋のボランティア活動等が中止となりました。被災された方々の一日でも早い復興を願うとともに、生徒の皆さんには、一日一日を大切に過ごしてほしいと思います。

さて今の時期は、様々な運動部が秋の新人戦に臨んでいるかと思えます。私もいくつかの部活動の試合を見させていただきました。一生懸命プレーする姿、懸命に仲間を応援する姿、思うようにプレーができなくて悔し涙を流す姿など、どれをとっても皆さんの懸命さが伝わってきて、見に行った甲斐があったと思いました。

ただ、どうしても見ている気になるのは、試合中の声の掛け合いが小さいことです。特に劣勢に回ったときは、技術以上に差をつけられてしまっている感じがして、非常にもったいないと思いました。高校スポーツの勝敗は、技術力よりも精神力に左右されることが多々あります。ここぞというとき、一人一人が目一杯の声を上げて、皆で声を合わせればもっともっと大きな力となるはずです。普段の練習から培っていただければと思います。



さてこの時期、もう一つの大切なことは『進路を決める』ことです。

「将来は、美容師になりたい。」1年生で実施するライフプラン発表会を聞いていて、非常に頼もしく思いました。少なくとも高校時代の私は、自分の職業について明確なビジョンを持っていませんでしたから、誰もが自分のやりたいことを堂々と発表する姿を見て、大変素晴らしいと思いました。

でも一方で、こんなことも頭をよぎります。「本当に様々な仕事の中からそれを選んだの?」「その仕事の表面的なことだけではなく裏側もしっかり調べたの?」

だって、世の中に無数の仕事があって、それらを高校時代に知ることは難しいと思うからです。

だから、世界観を広げるために、今のうちに本を読んだり勉強したりすることが必要なのです。勉強は考え方やモノの見方を大きく広げてくれます。物事を正確に判断するための様々なアイテム(武器)を、授けてくれます。何も知らないで物事を判断することは、丸腰で戦いに行くようなものです。今現在、何をやっていいのかわからない人ほど一生懸命勉強してください。

なりたいたいと思っていたことは、その後の状況で変わってきます。それは恥でも何でもありません。大切なのは、人生の節目でしっかりと考え、今できることを精一杯やることです。進学すると決めたのなら、努力しないと到底入ることのできない学校に挑戦してください。受験をしないと決めた人も勉強はしてください。長い人生、どこかで何かに向かって努力しなければ乗り越えられない局面は必ず来ます。そういう時に頑張れる生徒は、今を一生懸命努力した人だけです。チャンスから逃げないで挑戦することを学んでほしいと思います。

「秋深し、隣の人は何する人ぞ (By 芭蕉)」

教務部主任 廣見 卓哉

前回の薫風では、青春の大切な時を大切にしよう！1秒を大切にしようというメッセージを送りましたが、覚えてますか？

さて、2学期に入り、黎明祭も終わって、秋が深まってきましたね。祝祭が終わると、淡々とした日常が戻ってきます。日常の地道な積み重ね、充実があつてこそ、一時の祝祭が盛り上がるのではないのでしょうか。何をするにも気候の良い秋に、地道に学生としての学びを積み上げて行って欲しいと思います。その学びの充実には読書が欠かせません。もちろん諸君たちは大崎高校で朝読書に取り組んでいるので、読書は身近なものになっていると思います。読み解く力を深めるために、自分にとってもう少し歯ごたえのある本にトライしてみることをお勧めします。今回はデカルトの言葉を紹介します。

「すべて良き書物を読むことは過去の最もすぐれた人々と会話をかわすようなものである」
自分にとっての良き書物に出会い、作者や登場人物と会話を交わすことができたなら、多くのことを学び、人間として成長することでしょう。良き書物がどれかわからないという人は、時間という風雪に耐えた古典をひもとくといいでしょう。

また、書を読むだけでなく、その学びを実践に移せればそれにこしたことはありません。かの詩人、劇作家の寺山修司も「書を捨てよ、町に出よう！」と言っています。書を読み、町に出て行って実体験を重ね、また書物に戻るという繰り返して、どんどん人間として成長すると思います。
ファイト！大崎生！「読書の秋を充実させよう！」我ら大崎、誇りを胸に！しよう。

「文化祭 表彰」

生活指導部 田中 信吾

階段アート部門

- 第3位「1年B組 呪われた教室からの脱出」
- 第2位「演劇部 高瀬舟、ヘンゼルとグレーテル」
- 第1位「美術部 十人十色」

クラスTシャツ部門

- 第3位「2年A組 ニノ江病院～恐怖の廃病院～」
- 第2位「3年C組 ジャングルチャレンジ」
- 第1位「2年G組 G鶏」

立て看板部門

- 第3位「1年D組 呪われた教室からの脱出」
- 第2位「2年C組 <神社、寺> 私をサガシテ」
- 第1位「1年C組 ジャングル迷路」

- 芸能部門 優秀賞「演劇部 高瀬舟、ヘンゼルとグレーテル」
- 催事部門 優秀賞「1年D組 銀河最強のスペースレンジャー」
- 展示部門 優秀賞「映像同好会 第1回黎明祭上映会」
- 模擬店・売店部門 優秀賞「2年G組 G鶏」

- 黎明祭大賞 部活動部門「和太鼓部 和太鼓魂」
- 黎明祭大賞 HR部門「3年E組 駄菓子のれいみんち戸越公園駅前店」

- 校長特別賞 「ダンス部 Dance」

「実りの秋」

進路指導部 石村 晶子

中間考査も終わり、2学期も半ばを迎え、一年も折り返しの時期となりました。年度当初の進路だよりで、目標を立てることの大切さを書きましたが、目標に向かって進んでいますか。もし、目標を変えたいと思ったら、舵を切りなおして、今の自分に合う目標に変え、残り半年を有意義に過ごしてください。

さて、表題を「実りの秋」としました。「実りの秋」としたのは、夏休みの結果がこの秋に反映されるからです。3年生は受験勉強や、入試などの対策にしっかり取り組んでいたことと思います。また、1、2年生は学校の講習やオープンキャンパスに参加したり、課題をこなしたりしたと思います。2学期当初の模試の結果はいかがだったでしょうか。2学期当初の模試は、夏休みの結果を反映する模試といわれています。そろそろ結果が手元に返っていると思います。結果をみながら、どこを伸ばしたらよいか、どんな対策をとったらよいか対策を立て、自分の力を伸ばしてください。

2学期は、進路の行事も含めて学校の行事が多く実施されます。すでに1年生は適性検査を実施し、中間考査最終日に結果の見方に関する講演会を実施しました。今の自分の興味、得意がどんな分野で生かされるか、一つの参考にしてください。2年生は、9月25日に「企業が求める人材について」という講演会を実施しました。社会人として必要とされる力のベスト3を覚えていますか。①コミュニケーション能力、②基本的な生活習慣、言葉遣い、社会人としてのマナー、③協調性でした。これらは日々学校生活で身に付けていくものです。特にコミュニケーション能力については、年齢層や立場の違う方々と接したときに問われます。10月30日の分野別進路ガイダンスでは、大学、専門学校の方々が多く来校しました。自分の進路に関する大事なガイダンスを受けるチャンスでもあります。年齢も立場も違う社会人の方々と接する貴重な機会でもあります。社会人を磨く機会としてもこのような行事を生かしてもらえたらと思います。

3年生は、AO入試や推薦入試で進路先が決まった人もでてきました。就職もだいぶ決まってきました。ただし、受験は団体戦です。たとえそれがAO・推薦であろうと、就職であろうと、最後の一人が決まるまで、団結して取り組むものです。決まっていない人がそばにいたら、協力してください。そして、残りの学校生活を最善尽くして全うしてください。これから進路を決める人は焦らないこと。自分の道を貫き通してください。自分を信じて走り切ってください。最後のその日まで伸びるから。進路指導部は、頑張るみんなに大きなエールを送ります。

「更なる進化を」

1学年主任 吉岡 香子

高校生として初めて参加する文化祭に向けて、各クラスとも夏休みから集まり、準備を進め、意欲的に取り組んでいました。どのクラスも企画をじっくり考え、もう一工夫、自分たちらしさを出すように考えていたところに感心しました。しかし当日上級生の企画の出来栄の高さに驚いたのではないのでしょうか。今年できなかったことを来年挑戦して、自分自身も学年も進化してほしいと思います。

1年生の2学期は成績が下降しやすい時期です。忙しい日々ですが甘えず勉強を積み重ねることを忘れずに!頑張った分だけ形になります。



「2度目の黎明祭」

2学年主任 伊堂寺 豊

「2年生は各行事の中心として動く」と以前の薫風にも記載しましたが、黎明祭はどうでしたか？積極的に考え行動し、活躍できましたか？全てが思い通りにいくわけではありませんが、自分次第で変われます。黎明祭は残り1度。来年、最後の黎明祭はどんな黎明祭にしたいですか？2学年が中心となり、最高の黎明祭にしてください！

次は、修学旅行。2学年みんなで真剣に取り組み楽しみましょう！

「進路が決まっている人も、これから受験する人も、時間を有効に使いましょう」

3学年主任 山口 哲男

文化祭での各種活動、お疲れさま。遂に、追い込みの2学期後半です。落ち着いて時間を有効に使いましょ。リズムを崩さず、生活習慣を保ち、学習時間を十分に伸ばしてください。重要事項についてまとめます。

1. AO、推薦（指定校・公募）での進学あるいは、就職予定のヒト

手続きにあたっては、進路指導部担当教員や学級担任と、よく情報を確認しあい、間違いの無いよう万全を期してください。また、面接試験に向けて、自己分析を繰り返してください。面接担当者に対して、さりげなく自分をアピールできるように、さまざまな想定をしてみてください。

2. 一般入試やセンター試験に向けて努力しているヒト

改めてその学校に、なぜ入学したいのか、学ぶことを将来、どのように生かしてゆきたいのか、等についてよく確認し、落ち着いて受験勉強に打ち込んでください。

3. 進路が既に決定していたり、既に方針が明確になっているヒト

当たり前のことですが、あえて書きます。「無事に卒業することが、最重要課題です。」日々、遅刻、欠席、早退が無いように、また、不真面目な学習態度をとらないように、心がけて生活してください。定期試験で確実に得点して行ってください。

設定した目標が揺るぎのないものであることを願います。ここからは「目標の具現化」に向かうのみです。もう時間はありません。自分に負けることなく向上して行ってください。改めて、期待しています。

